

## 第2回厚生常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	平成26年5月23日（金曜） 午後1時30分		
	休憩時間 13:48-13:51 14:14-14:15		
	午後2時19分		
会議場所	役場3階 第1委員会室		
出席委員 氏 名	委員長 岡崎榮太郎	委 員 唯野 義勝	議長 広瀬重雄
	副委員長 高橋 仁美	委 員 吉田 敏郎	
	委 員 高橋 源		
説明等に 出席した 者の氏名	住民生活課長 弦巻 潔		
	国保係長 竹川恭史		
	保健福祉課長 中川ゆかり		
	課長補佐 有澤勝昭		
	介護保険係長 佐々木博史		
	介護保険係主査 中田雅彦		
事務局職員	局長 西科 純	次長 剣持 和裕	

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開会 委員長が開会を告げ、事務局長から本日の委員会の日程について説明する。

2 議件

(1) 調査事項

ア 平成25年度国民健康保険特別会計決算見込みについて

資料1

住民生活課長から説明後、質疑を行う。

- ・高橋（源）委員：差引1億800万円の赤字であり、昨年度も6,800万円の赤字であった。前年は税率改正しないということであったが、今回はどうか。
- ・住民生活課長：H25は1億と4倍である。H26の賦課状況を鑑みて来年度に向けて対応を考えていかなければならない。
- ・高橋（源）委員：中間からの消費税3%分の措置は。
- ・住民生活課長：国は2200億円を補てんできると述べていたが、500億円くらいしか補てんされない見込みである。
- ・高橋（仁）委員：限度額の引き上げはいつからか。
- ・住民生活課長：平成26年度からの引き上げである。
- ・高橋（仁）委員：平成27年度としての対応策は。
- ・住民生活課長：国・道・町のルール分として、保険税が財源であり、一般会計からの繰入は特例措置であり、続けることはできないものである。
- ・高橋（仁）委員：医療費が伸びた原因は。
- ・住民生活課長：一般被保険者分の入院が前年対比で1割程度伸びている。高額医療費も

同時に伸びたものとする。

- ・高橋（源）委員：保険税の収納率は。
- ・住民生活課長：96%程度である。

イ 第5期介護保険事業計画の進捗状況について

資料2

- ・保健福祉課長及び介護保険係長から説明。
- ・高橋（仁）委員：平成26年度末の推察は。
- ・保健福祉課長：現在の状況であると、930万円程度は黒字となる予測をしているが、重症の方が出ると不明である。
- ・高橋（仁）委員：介護保険料の引き上げは想定できるか。
- ・保健福祉課長：現在ニーズ調査を策定中であるが、必要な施設があると引き上がる可能性はある。施設サービスよりも在宅サービスを充実する考えを持っている。
- ・高橋（仁）委員：スケジュールをみると、平成27年1月～3月までに厚生常任委員会への説明をするようになっているが、2年前のような議会への説明不足のないような手続きをお願いしたと考えるがどうか。答申が出てから発表をすべきと考えるがどうか。
- ・保健福祉課長：そのようなことがないようにしたいと考えている。平成26年中にも厚生常任委員会に対し説明したいと考えている。

3 その他

(1) 次回委員会の日程について

正副委員長に一任。

(2) その他 なし

以上をもって委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	2名	報道関係者	0名	合計	2名
------	-----	----	-------	----	----	----

記載のとおり報告する。

平成26年5月23日

厚生常任委員会委員長 岡崎 榮太郎